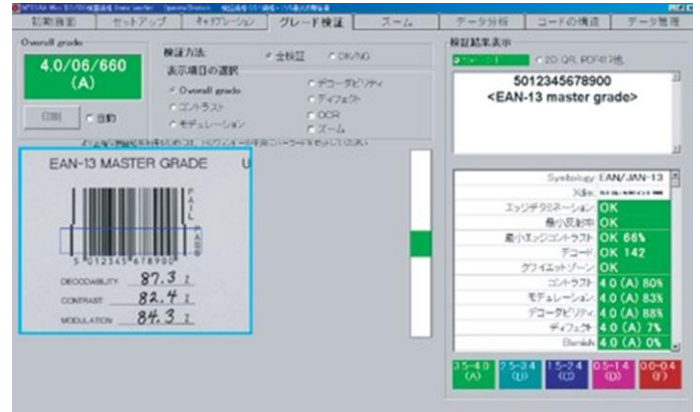


インテグラ 9510

グレード検証の世界標準機 GS1認定
日薬連ガイドライン完全対応済み



業界のデファクトスタンダード機のニューバージョン

プロトタイプを2010年秋に、A I M総会にて披露して以来、改善を繰り返し、既存モデルのインテグラ9505の性能を向上させ、GS1規格の検証に対して必要十分な小型化を進め、印刷や受入検査などの現場作業でも簡単な操作で、安定したグレード検証が可能な1Dコード、2Dコードの検証機として仕上げました。

全てのGS1規格、ISO-15416, 15415準拠のグレード検証に加えて、世界で流通している殆ど全てのコード（シンボロジー）に対応して、全て精度で検証します。もちろんQRコードのグレード検証も対応しています。本体は小型軽量(5kg)で、作業場所を移動させての検証にも適しています。

インテグラ9510には、マウスでエリア指定するという極めて簡単な操作で、流通している殆ど全てのバーコード(1D)、二次元(2D)コードをグレード検証、そして分析するソフトウェアが標準搭載されています。既に1,500台以上が世界各国で実際の検証に使用されているカメラユニットと、インテグラ95xxソフトウェアを搭載するウィンドーズパソコンとUSBケーブルで接続するシンプルな構成です。検証対象を置く場所は本体の上部ガラス面です。ラベルのようなシートのフラットな基材は勿論ですが、ラベルの貼られた製品、或いは直接印刷されたボトル、パッケージ等の立体物もインテグラ9510本体上面のフラットホームに置くだけで、グレード検証可能です。複数のバーコード、二次元シンボロジーコードを同時検証する機能も持っています。視野幅よりも長いバーコードは分割して撮像し、自動接続して検証する機能も標準搭載です。

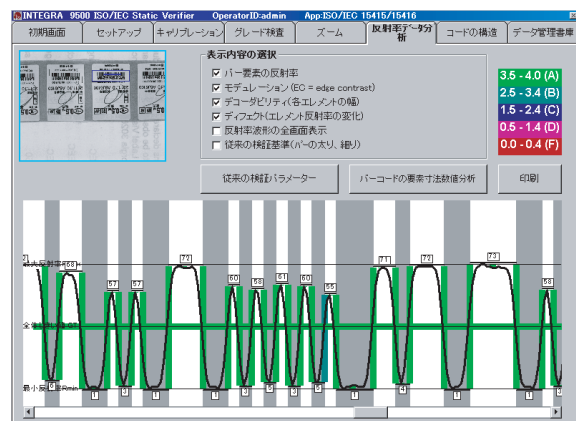
- ・ 最終検証規格に準じて最小モジュール、自動選択
- ・ スティッチ機能：長いバーコードの検証可能
- ・ GS1書式、LVS書式 (HTML) での検査報告書の発行が可能 (プリンターと接続してユーザー独自書式の報告書作成)
- ・ 検査結果は自動保存され、いつでも検査報告書を作成可能
- ・ グレード検査と同時に、各部のグレードを色別視覚的表示
- ・ 0.05ミリピッチでのバーを全検証し、実測数値データ表示
- ・ データ分析画面で、視覚的分析と実測データの活用機能
- ・ 各国の郵便番号コードのグレード評価機能も標準搭載
- ・ 検査枠に入らない長いバーコードも検証可能
- ・ 複数のコードを同時検証可能なテンプレート機能 (オプション)
- ・ QR、マイクロQRコード対応

開口径は検査規格に準じて自動選択 ユーザー指定も可能です

インテグラ9510はISO・ANSIやその他の検証規格を用いてグレード評価の検査規格であるパラメーター基準でグレード評価するシステムですが、併せてデータ構造(文法)も検証対象としてグレード評価に反映いたします。即ち、品質の良いコードでも構文が誤っていれば「F」値を返します。またGS1検査パラメーターではないコード内の汚れ検査もパラメーターとして組み込み検証する機能も選択可能で、標準搭載されています。他の検証機で採用されているISO規格の最低レベルの10スキャンラインでの検証結果も参考データとして検証する機能を持っています。開口径は、核検証規格によって自動設定されますが、敢えて指定して検証することも可能な機能も搭載しています。バーコード(1D)、2Dコード検査でエラーが発見されるとエラー発生場所は、判りやすく画面内に色別表示されます。0.05ミリピッチの検査スキャンラインにより、縮小バーコードやバー長さを切り詰めたバーコードでも正確に検査、検証、グレード評価が可能です。RSSコードは小さいラベル・パッケージに採用される場合も多く、特にこの機能は有効に機能します。

ユーザー自身でも設置、運用開始まで可能な形で出荷します。

通常は当社で訪問して機器設定、操作指導を行ないますが、ユーザー自身でも導入可能です。インストラクションマニュアル完備。



検証は、マウスでエリアを囲むだけ！ 検証結果は総合評価のグレードを色別で表示し、開口径、検査時の波長域を表示すると同時に各パラメーターも色別表示します。コードの実測値も表示されます。上の画面は波形と主要パラメーターの詳細実測データを表示しています。

インテグラ9510 カメラユニット

LVS9510用カメラユニット (スキャナー) とは?

インテグラ9510は上部ガラス面を検証テーブルとするCCDカメラ方式を採用しています。①検証機の上面に置くだけで各種コードの検証ができ、②トップのガラス面がデータ検証のフォーカス面であるので、フラットな基材のみならず立体物パッケージをそのまま検証可能です。製品にコードが付いた状態で、検証可能であり、出荷用コンテナ、ダンボール、かさばったり平面でない場合(ボトル、注射器)でも検証できることです。インテグラ9510は、GS1とISO/IEC規格を完全に満たしていると同時に天板のガラス板検査ステージ上に検体を置いて検証を行ないますので検査対象の形状を気にせずに検査できます。

3種類の視野幅と異なる解像度のカメラの組合せから選択

インテグラ9510機は、3種類の視野幅から選択できます。下記の表は、バーコードのモジュール幅と二次元コードの最小セルサイズの組み合わせです。

	検証視野幅	最小バー幅 1-D	セルサイズ 2-D
500万画素	76ミリ	4.7mils (0.119ミリ)	6.6mils (0.167ミリ)
	104ミリ	6.0mils (0.152ミリ)	9.0mils (0.229ミリ)
	114ミリ	7.0mils (0.177ミリ)	9.8mils (0.245ミリ)
	159ミリ	9.4mils (0.238ミリ)	11.3mils (0.287ミリ)

テンプレート機能 (オプション)

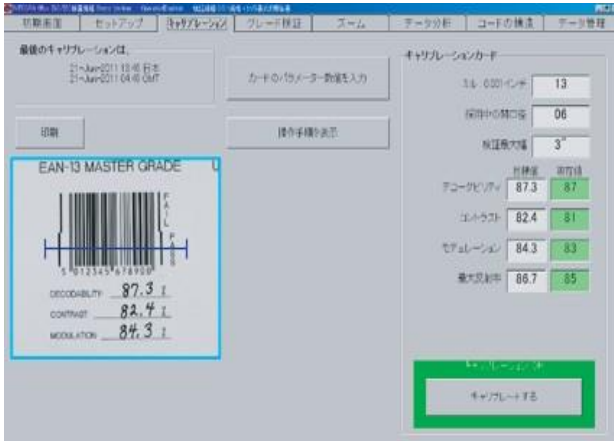
当システムは、繰り返し検証を行なう際に有効なテンプレート機能を持っています。製品に貼られたラベルやパッケージ上の複数個のコードの位置を、ユーザーが自由にテンプレートを作成できワンクリックで全てのコードを一回で同時検証できます。

世界で最初のGS1認定機 インテグラ9505機の後継機

GS1認定機の第一号であった前モデル「インテグラ9500」、その後継機「インテグラ9505」を引き継ぎ、GS1認定機です。下にリストしたコード全てに対応しています。機器へのログインから始め、全ての検証作業、操作履歴等を電子ファイル化しており、21CFR-Part11準拠です

搭載済みコードの規格(抜粋)

- JAN, EAN128, GS1規格の全コード
- ITF-14, NW-7, Code 39
- データマトリックス, French CIP-ACL
- Aztec Code, Maxi Code
- UCC/EAN-128, 動物医薬品コード
- 各国 Pharma Code
- EAN/UPC w/ CC, Han Xin Code,
- AIAG/JAPIA, ALDI, 米国防省規格
- QRコード、マイクロQR
- USPS メールバーコード
- 英国ロイヤルメールコード (日本と互換性あり)



ユーザー自身でいつでもキャリブレーション可能

仕様

- カメラユニット寸法
 - 奥行 = 9.062吋 (230mm)
 - 幅 = 11.125吋 (282mm)
 - 高さ = 10.25吋 (260mm)
 - 重量 = 11ポンド (5kg)
- CCDカメラ モノクロ 500万画素
- パソコン必須条件
 - Windows7 或いは Windows XP (Vista、Windows 8は、サポートしていません。)
 - CPU Intel Celeron2.4Ghz以上
 - メモリー 1GB RAM
 - ハードディスク 40GB
 - ディスプレイ 800x600以上
 - USB 2.0ポート 2ポート以上
- 光源 赤色 660nm
 - 12 vdc 1.6 amps
- 入出力
 - USB 2.0 port 12 vdc 1.10 amps
- 作業環境温度 10℃~30℃
- 保存場所の温度 0℃~40℃
- 環境湿度 20%~70%
- キャリブレーションカード GS1発行のコンフォーマンスカード付属



販売代理店